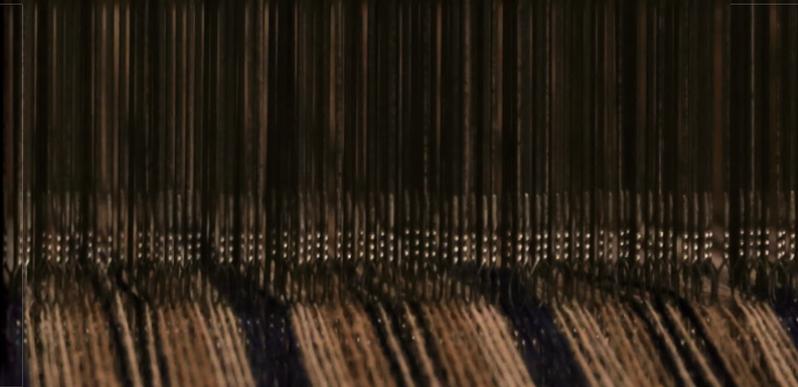


丹波すぐれもの大賞

令和2年度 TAMBA SUGUREMONO





丹波地域は、四季折々の豊かな自然や、丹波栗・丹波黒大豆といったブランド農産物、日本遺産のデカンショ節や丹波焼、そして恐竜化石など、豊かな地域資源に恵まれ、更には京阪神からのアクセスの良さなど様々な魅力にあふれています。また、優れた技術で産業界や地域の活性化に貢献している製品や、地域の特徴を生かした独創的で優れた品質の食料品を製造している企業が数多くあります。

そこで、地域の将来を担う若者や内外の多くの方々に、これら丹波地域の企業の取組や製商品等の魅力を知り、興味や関心を高めていただこうと、「丹波すぐれもの大賞」として顕彰しています。

令和2年度は、「きらめき部門」「わくわく部門」「ときめき部門」の3部門併せて11件の応募の中から、学識者等からなる6名の審査委員による厳正な審査を経て、計6件の「すぐれもの大賞」を決定しました。また、受賞された皆様には、日本遺産としても認定を受け、丹波地域の伝統工芸として有名な丹波焼の表彰楯をお贈りしました。

この賞による顕彰は節目の10年目を迎えましたが、全県・全国レベルの表彰に選定された方やテレビやラジオといったメディアに取り上げられた方もあります。同じように、この度の受賞が今後ますますの発展に繋がることを期待しています。

県民局ではこれからも、「丹波すぐれもの大賞」として企業等の取組を広くアピールし、地域の活性化を図り多彩な産業・豊かなものづくりにあふれる丹波地域の創造に貢献してまいります。今後も、ぜひ丹波地域が誇る地元企業等の優れた取組に御注目ください。

丹波すぐれもの大賞の概要

丹波県民局では、地元企業の優れた企画・技術力を広くアピールし、地域の産業を活性化するとともに、地域資源を活用した事業やイベントによる観光・交流を促進するため、平成23年度から「丹波すぐれもの大賞」による顕彰を行っています。

3部門において審査を行い、特にすぐれた評価を受けた企業・団体・個人等を表彰しています。

◆ 表彰部門 ◆

きらめき部門

革新的で高い技術により開発された、産業及びビジネスで活用される製商品

わくわく部門

丹波地域の特徴を生かした、独創的で優れた品質の食料品

ときめき部門

地域資源を新たな工夫で活用し、観光・交流を促進する事業・イベント

◆ 募集期間 ◆ 令和2年7月22日(水)～9月18日(金)

◆ 審査委員会 ◆ 令和2年11月25日(水)

すぐれもの大賞に選考された製商品等は、パンフレットの作成・配布や県民だよりひょうご、ホームページ等で地域内外へ広く発信し、丹波地域のものづくり産業、観光・交流への関心を高めることとしています。

令和2年度は全体で11件の応募があり、厳正な審査の結果、6件の「すぐれもの」を選出しました。

まず、革新的で高い技術により開発された、産業及びビジネスで活用される製商品を表彰する、「きらめき部門」です。ジョリーメゾン(株)の『ジョリーメゾンのトッポンチーノ』は、イタリア発祥の赤ちゃん用抱き布団を、日本の育児環境に合わせて、安全安心な素材や抱き心地、扱いやすさなど、試行錯誤を重ねて独自に製品化し、丹波の高い縫製技術で仕上げた製品です。谷水加工板工業(株)は、テレワークなどで集中できる環境が欲しいという声に応え、自社の優れた遮音・防音パネル技術を活かして、コンパクトに持ち運べて、素早く設置でき、かつ最適な吸音性能を有するユニークな『SEREN desk』を開発しました。いずれもニーズを捉え、機能性や使いやすさを追求して製品化したもので、素材から製造まで丹波のものづくりが結集した製品でもあります。



次に、丹波地域の特色を生かした、独創的で優れた品質の食料品を表彰する、「わくわく部門」です。(株)ナカタニの『丹波黒大豆肉粽』は、台湾南部の伝統製法により丹波篠山特産の黒大豆やもち米など沢山の具材を8時間茹で上げ、黒豆醤油ダレと黒豆きな粉をトッピングして食べる、どこにもない食感と味わいのちまきです。(株)丹波婦木農場は、自家製ジャージー生乳や乳酸菌だけを使用し、国内でも珍しい蔵で1年以上長期熟成した濃厚な味わいのチーズ、『蔵熟成ゴーダ』を完成させました。(株)西山酒造場の『丹波小鼓 美白醇酒』は、自然酵母の発酵で生み出す微発泡の低アルコール日本酒で、酵母と相性が良い丹波の酒米と超軟水を使用し、柔らかなのど越しと甘さが日本酒初心者にも人気です。いずれも丹波ならではの素材と、独自の技術や工夫を組み合わせ、他にない魅力的な商品に仕上げています。

最後に、地域資源を新たな工夫で活用し、観光・交流を促進する事業・イベントを表彰する、「ときめき部門」です。たんばJUNちゃん農園の『快汗・共汗・楽農・楽食体験 in 丹波』は、家族的な雰囲気でも繋がりを重視した田舎体験の交流事業が好評を呼んでいます。黒枝豆の収穫体験には年間延べ約300人が来園される等、阪神間以外からも東京・名古屋・奈良など遠方の参加者があり、地道ながら熱心な丹波ファンやリピーターを増やしていることが評価されました。

以上、受賞内容について簡単にご紹介しましたが、今回惜しくも選外になった中にも創意工夫が凝らされているものが多くあり、丹波地域には大変素晴らしい企業・団体があることを改めて実感しました。

最後に、皆様が今回の受賞を契機にさらなる飛躍を遂げられますよう祈念しまして、簡単ではありますが講評とさせていただきます。



表彰式 令和3年2月19日(金)



ジョリーメゾンのトッポンチーノ®

ジョリーメゾン 株式会社



本体の生地や内側の綿、カバー生地も全てオーガニック100%



ジョリーメゾンのトッポンチーノ®は、本体の生地や内側の綿、カバー生地に至るまでオーガニック100%で作られています。すべて日本で生産し、ホルムアルデヒド移遷検査を実施し、品質の安全性を確認しています。また、日本人に合わせて独自開発し、サイズや安定感など細部にまでこだわりました。

(丸洗い可)
生まれてからの数ヶ月というのは、おかさんとあかちゃんの絆を深める大切な時間です。生まれてから、トッポンチーノをすぐ使いはじめることで、生地におかさんのおいがしみ込み、どこに行くときもトッポンチーノにつつまれていることでおかさんといつも一緒だという安心感は、あかちゃんにとってなにより幸せです。抱っこに慣れていないパパや子どもが抱っこすると

き、あかちゃんの寝かしつけにもトッポンチーノは大活躍。あかちゃんを見守る家族全員にとって、メリットの多い育児アイテムです。

また、おでかけの場合など、環境が急に変わるときにも、トッポンチーノがあれば安心。トッポンチーノごとおふとんに寝かせてあげたり、チャイルドシートにのせたりすると、あかちゃんのいわゆる「背中スイッチ」が入りにくく、環境の変化に対するあかちゃんの不安や動揺が軽減されるために、泣き出してしまいうことが減ります。折りたんで持ち運びも可能です。あかちゃんに、初めての世界は刺激がたくさん。ジョリーメゾンのトッポンチーノはあかちゃんが安心・安全に過ごすためのもっとも優れた製品のひとつです。



会社概要

所在地 本社：大阪府大阪市北区梅田 2-2-2
 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー 19 階
 製造拠点：兵庫県丹波市柏原町柏原東奥 228-2
 代表者 西島 紀史
 創業 2016 年
 資本金 100 万円
 社員数 7 名
 事業内容 ベビーテック製品の開発・販売
 問合せ先 TEL：0795-72-8177/FAX：0795-72-8177
 H P https://joliemaison.jp

会社沿革

平成28年6月 大阪にてジョリーメゾン株式会社を設立
 平成30年8月 丹波市に製造拠点を移す



SEREN desk

谷水加工板工業 株式会社

当社は組立式木製防音室を始め、吸音パネルなど遮音／吸音に関する製品を製造販売しています。今まで培った音に関する確かな知識を活かし、本製品SEREN deskを考案しました。

吸音材・枠材・鉄部、縫製技術や組立加工技術など全て丹波地域にあるモノ・技を合わせて本製品を作り上げています。その為、本製品はオール丹波の製品だと思っています。

本製品は「持ち運ぶ集中デスク」であり「サッと展開」「吸音と視界遮断で作業に集中」「コンパクトに収納」できる製品です。

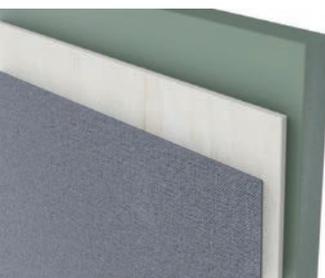
吸音パネルや目隠しパーティションと、それぞれの製品は他社からも多く販売されていますが、その両機能を兼ね備えた製品はほとんどありません。

本製品はその両機能を有し、耳元にフィットする様に配置された吸音パネルと目の前を軽く遮断する胴体部が存在します。

耳元と胴体部に配置した吸音材が、対面に座る人に配慮しつつオンライン会議（会話）をする事ができます。コロナ禍により子供が家に居る状況でテレワークの必要性があり「本製品を使用したい」と問い合わせを多数いただきました。

本来、吸音パネルは部屋の天井や壁に貼り使用するモノです。しかし本製品の“吸音パネルを持ち運ぶ”という体験を通し、“吸音パネルは持ち運ぶモノ”という意識の変化を呼び起こせればと思っています。当社はそこに新たな市場が生まれる事を期待しております。

＋
全て丹波地域にあるモノ・技を合わせて製造



会社概要

所在地 兵庫県丹波市氷上町賀茂 1457 番地 1
 代表者 谷水 ゆかり
 創業 1961 年
 資本金 1000 万円
 社員数 25 名
 事業内容 建築材料のジャストカット、ユニットハウス等壁パネル製造、断熱パネル製造、防音パネルの製造、防音室の施工
 問合せ先 TEL : 0795-82-2117/FAX : 0795-82-6672
 Email : y-tanimizu@tanimizu-kakou.co.jp
 H P https://tanimizu-kakou.co.jp/

会社沿革

昭和36年 3月 「谷水加工板製作所」として創業
 昭和44年 8月 「谷水加工板工業株式会社」を設立
 昭和54年 6月 断熱材（押出発泡ポリスチレン製品）のパネル貼合せ加工開始
 平成 9 年 9 月 ISO9002(1994) 認証取得工場
 平成15年 3 月 ISO9001(2000) 認証取得工場
 平成24年 2 月 不燃系防音室「おとのん」を発売
 平成24年 3 月 経営革新計画承認
 平成26年 9 月 吸音するソファ「Sound clear sofa」を発売
 平成27年 1 月 ひょうご産業活性化センター 成長期待企業認定
 平成27年 3 月 兵庫県丹波県民局「丹波すぐれもの大賞」受賞
 平成27年12月 室内残響音低減システム 特許第 5849381 号取得
 おとのん、Sound clear sofa、パナム 商標登録完了
 平成29年 4 月 船舶用浮き床パネル 意匠登録第 157627 号取得
 令和元年11月 防音パネル 特許第 6620969 号取得

丹波黒豆肉粽 (ちまき)



大鍋で長時間
煮込んで作る
台湾南部の伝統製法



株式会社 ナカタニ

令和の時代、丹波篠山市の誕生と共に、令和元年6月「おくも丹波黒豆肉粽」を開業しました。緑豊かな丹波篠山市東部の大芋地区にて、特産の丹波黒大豆、もち米を使用した「丹波黒豆肉粽(ちまき)」を毎日製造・直売しております。

もちもちとした独特の食感の当商品は、大鍋で長時間煮込んで作る台湾南部の伝統製法を用い、あつあつの具沢山ちまきに「黒豆醤油ダレ」や「黒豆きな粉」をトッピングする食べ方を丹波篠山スタイルとして応用しました。

国内では珍しい「本格ちまき専門店」として、地元の方々や観光のお客様方、全国より通販・お取り寄せのご利用を多くいただいております。

の地の新しい銘品として愛されるよう従業員一同日々努めております。

また、真空レトルト加工を施し、常温長期保存が可能な商品を開発。栄養満点な丹波黒豆を備蓄食として1年中美味しく手軽にお召し上がりいただけます。今後は、宇宙食を目指しております。



会社概要

所在地 兵庫県丹波篠山市三熊 98
 代表者 仲谷 洋介
 創業年 2018 年
 資本金 300 万円
 社員数 2 名
 事業内容 惣菜業
 問合せ先 おくも丹波黒豆肉粽
 TEL : 079-506-1971/FAX : 079-506-1971
 営業時間 10 時～18 時 (月曜日定休)
 https://okumo-chimak.com

会社沿革

平成30年2月 株式会社ナカタニを創業
 令和元年6月 おくも丹波黒豆肉粽(ちまき専門店)を開業
 令和元年10月 たきブックス(古書店)を開業

蔵熟成ゴーダ



株式会社 丹波婦木農場

丹波婦木農場では、米や野菜、酪農、養鶏、農家民宿など、農業の多様な面白さを伝える農場として丹波市内外のお客様に農産物をお届けしたり、農家カフェ営業などを行っています。

蔵熟成ゴーダは、当農場内に飼育するジャージー牛のミルクを100%使用し、国内でも珍しい1年以上の長期熟成ゴーダチーズです。

丹波にはかつて1000軒を超える小さな酪農家でしたが、今では酪農戸数が年々減少し、十数件の酪農家を残すのみとなっています。このような状況の中、丹波の酪農文化の魅力をより多くの方へ伝わるよう、平成28年より、丹波市唯一のチーズ工房を立ち上げ、ヨーロッパに負けないナチュラルチーズ作りに励んでいます。

チーズの熟成には厳正な温度と湿度の管理が必要ですので、当農場では先祖から受け継がれた「蔵」を利用し、年間通じてチーズの熟成管理を行っています。1年熟成の味わいはとても濃厚で香り高く、市内のお客様にも大変好評をいただいております。国産チーズコンテスト「ジャパンチーズアワード2020」では、本州最高峰となる銀賞を受賞しました。

これからも、より美味しく楽しい酪農文化を、この丹波の地から伝えていきたいと考えたいと思いますので、ぜひ一度ご賞味ください！



「ジャパンチーズアワード2020」で銀賞受賞



農場内に飼育するジャージー牛のミルクを100%使用

会社概要

所在地	兵庫県丹波市春日町野村 83
代表者	婦木 克則
創業	2019年（法人化）
資本金	100万円
社員数	3人
事業内容	農業生産・加工・販売、農家民宿、カフェ営業等
問合せ先	TEL：0795-74-0820/FAX：0795-74-0820 Email：info@fukifarm.com
H P	https://fukifarm.com

会社沿革

昭和12年	乳牛を導入し、酪農を開始する
昭和61年4月	現代表が就農し、米・野菜・酪農生産に努める
平成25年8月	農家民宿〇(まる)を立ち上げる
平成28年2月	製造認可を受け、丹波チーズ工房を設立
平成30年3月	「サンマルセラン（現商品名：丹波スノーホワイト）」が丹波すくれもの大賞を受賞
平成31年2月	法人化する

丹波小鼓 美白醇酒



口の中でぷちぷちと
はじける微発泡と
口当たりのやさしい
甘さ、爽やかな飲み心地

酒米
「兵庫北錦」を使用



株式会社 西山酒造場

西 山酒造場は丹波市市島町にある、1849年（嘉永2年）創業の酒蔵です。

清酒「小鼓」をはじめ、丹波の特産品である栗や黒豆を使用した焼酎、リキュール、麴を使った調味料やノンアルコール製品なども製造しています。

また、1年を通じて酒造りを行い、常にフレッシュなお酒をお届けしており、「一度飲んでみたい幻の酒」ではなく「また飲んでみたい一生の酒」として日常に寄り添い、親しみやすく深い味わいを目指しております。

清酒の製造には様々な発酵技術が使われており、その「米の発酵技術」を活用して、子供からお年寄りまでのあらゆる世代の方に幸せを感じて頂ける新しいモノづくりに力を注いでいます。

「丹波小鼓 美白醇酒」は炭酸を入れるのではなく、酵母の自然な発酵による微発泡と、うすにごりの低アルコールの日本酒です。口の中で

ぷちぷちとはじける微発泡と口当たりのやさしい甘さ、爽やかな飲み心地が特徴です。「今まで日本酒を飲んだことが無い」「日本酒が飲めなかった」という方にも楽しんでいただいております。

また、このお酒には丹波・但馬地域で主に栽培されている酒米「兵庫北錦」を使用しています。米本来の甘みとキレが良く仕上がる特徴を持つこのお米は美白醇酒になくはない存在です。

昨今、お酒を飲まない若い世代が増加傾向にありますが、普段日本酒が苦手な方、また日常的にお酒を飲まない方にも受け入れやすい商品開発をすることで、日本酒文化の継承拡大に繋がります。また、消費者層拡大により、丹波・但馬地域で栽培されている酒米の魅力を発信することが出来ます。

この美白醇酒で新たな市場への開拓や新しいお客様へ日本酒の魅力を伝えていきたいと考えております。

会社概要

所在地 兵庫県丹波市市島町中竹田 1171
 代表者 西山 周三
 創業年 1849年
 資本金 2000万円
 社員数 42名
 事業内容 清酒・焼酎・リキュール・グラッパ、スイーツ、ノンアルコール製品等の製造・販売
 問合せ先 TEL：0795-86-0331/FAX：0795-86-0202
 Email：main@kotsuzumi.co.jp
 H P http://www.kotsuzumi.co.jp/officialweb/

会社沿革

嘉永2年 清酒蔵として創業
 大正3年 高浜虚子より「小鼓」と命名される
 昭和57年 全国で初めて栗焼酎を製造、販売開始
 昭和59年 全国で初めて「生酒の蔵元直送便」を開始
 平成3年 「花開一鼓」、「路上有花」を発売、ヒット商品となる
 平成13年 海外への輸出を開始
 平成24年 「甘酒ヨーグルト」「甘麴」が丹波すぐれもの大賞を受賞
 平成26年 「路上有花」が丹波すぐれもの大賞を受賞
 令和元年 全国新酒鑑評会2年連続金賞受賞
 クラフトジンの開発・製造・販売開始
 「小鼓 モンテオエステジ」が丹波すぐれもの大賞を受賞



快汗・共汗・楽農・楽食体験 in 丹波

丹波の自然を机上に
持ち帰ってもらう
苔テラリウム教室



かまど飯の
炊飯体験



たんば JUN ちゃん農園

最近では体験型の観光を望む人が多く、たんばJUNちゃん農園では参加者が収穫体験の他に農家の納屋や“かまど”、蕎麦打ち、ボン菓子づくりなど農園の設備を利用し昔ながらの農家の生活を体験しています。また、収穫後、自炊形式で調理し、収穫の喜びを共に味わっています。自炊と試食の会場は古い木造の納屋で、コンサートなど文化的なイベントも組み合わせ、音楽と農家の古い佇まいも楽しんでおり、農園と参加者同士が家族的な繋がりのできるイベントを目指しています。年間を通じた体験メニューは次のとおりです。

- ジャガイモ・黒豆・サツマイモ・落花生の植え付けと収穫体験
- 蕎麦打ち体験と自炊による試食
- ポン菓子製造体験と試食
- 珈琲教室と蓄音器で昭和初期の音楽鑑賞
- かまどご飯の炊飯体験（かまどご飯を使って近所の養鶏家の卵で卵かけご飯の試食や、炭火で焼きおにぎりをつくり試食）
- 苔テラリウム教室（丹波の自然を机上に持ち帰ってもらう。別名【持ち帰る丹波】）
- 農園の近くでは清流の小川があり、蛍が乱舞するので、蛍鑑賞会も実施。

♪
昭和初期の
音楽鑑賞
♪



会社概要

所在地 兵庫県丹波市柏原町柏原 3161-1
(農園：丹波市春日町下三井庄 468)
代表者 岡田 潤子
創業年 2017年
資本金 ー
社員数 2名
事業内容 農作業を中心にした収穫と田舎の生活体験
問合せ先 TEL：090-5257-8111
Email：tan-boku@h7.dion.ne.jp
HP https://juntyanouen.jimdoofree.com/

会社沿革

平成29年1月 菓子製造業を取得し農産品の6次産業化の研究を開始
平成30年3月 会員制で農園の活動を始める
平成30年11月 テレビ朝日【人生の楽園】に出演
平成30年～ 丹波市シティプロモーションに採択（2年間）
平成31年
令和元年10月 農園で丹波市PRのプロモーションビデオ撮影

過去5年間の受賞企業・製商品

きらめき部門

KIRAMEKI DEPARTMENT



平成27年度

株式会社岩崎電機製作所(丹波篠山市)

産業機器等の自動検査装置
「サイバーテスター」



平成27年度

Tanba Style(丹波篠山市)

丹波焼の伝統を生かした洋食の器
「TS Black」「TS White」



平成27年度

ミズノテクニクス株式会社 氷上工場(丹波市)

無縫製技術による高速水着
「GX-SONIC II」



平成27年度

有限会社喜南鈴硝子(丹波篠山市)

特許取得したガラスによるガラス工芸品
「花しずくシリーズ」



平成28年度

株式会社青山産業研究所(丹波篠山市)

こはぜプレスレット



平成28年度

株式会社サンバック 市島工場(丹波市)

フットグルーマー



平成28年度

株式会社田村機械製作所(丹波市) ※

栗の鬼皮剥き機

※平成29年で廃業。現在は株式会社東洋風圧で取り扱い



平成29年度

株式会社おいたて工務店(丹波篠山市)

SETTE (企画住宅)



平成29年度
パナソニックライティングシステムズ株式会社
春日工場（丹波市）
LED投光器モジュールタイプ



平成30年度
株式会社横谷（丹波市）
フロアtatami



平成30年度
株式会社ささやまビーファーム（丹波篠山市）
篠山精油・篠山石鹸



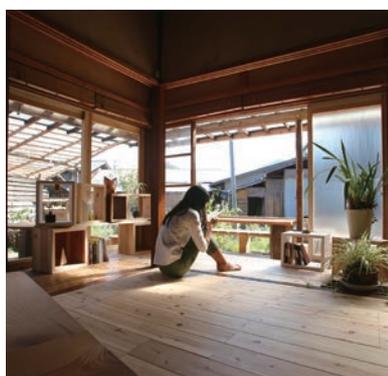
平成30年度
フォト・プランニング（丹波市）
クリーンライフプロ



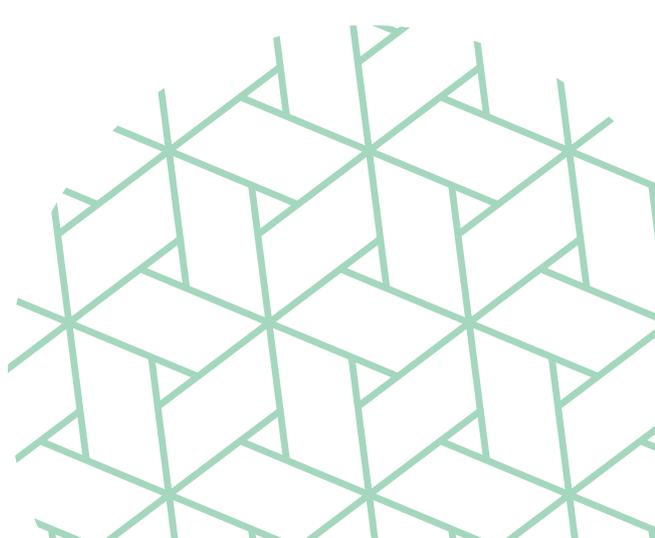
令和元年度
株式会社オオツキ（丹波市）
ぬっくモーる

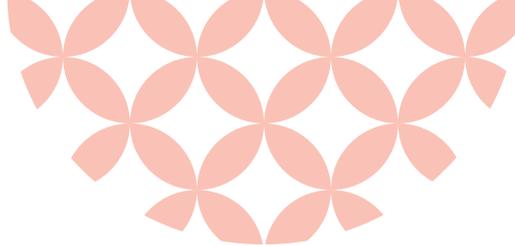


令和元年度
Maru Su Bags（丹波市）
**医療・救急・防災用
フルオーダーバッグ**



令和元年度
株式会社藤本林業所（丹波篠山市）
置き床生活





平成27年度
株式会社諏訪園(丹波篠山市)
丹波栗の風味・色合いを生かした
「新栗もち」



平成28年度
アイクレオ株式会社 柏原工場(丹波市)
アイクレオのバランスミルク



平成28年度
丹波小林屋(丹波市)
バジル茶



平成28年度
合同会社とあっせ(sasara)(丹波篠山市)
パティスリーバトン



平成29年度
有限会社こやま園(丹波市)
丹波なた豆茶



平成29年度
たんばJUNちゃん農園(丹波市)
丹波発大人のPongashi



平成29年度
丹波婦木農場チーズ工房(丹波市)
ナチュラルチーズ サンマルセラン



平成30年度
株式会社まさゆめさかゆめ(丹波市)
夢ばあむ



平成30年度
株式会社友縁／大連飯店(丹波市)
丹波ゴールドエッグー栗ー
丹波ドラゴンエッグー黒ごまー



令和元年度
ケンミン食品株式会社 篠山工場(丹波篠山市)
冷凍 丹波篠山産丹波黒大豆



令和元年度
御菓子司 荒木本舗(丹波市)
あざみ菜まんじゅう



令和元年度
株式会社西山酒造場(丹波市)
小鼓 モンテオエステ ジン



平成29年度
合同会社里山工房くもへ(丹波篠山市)
旧雲部小学校舎を活用した地域づくり



平成30年度
丹波篠山・まちなみアートフェスティバル
実行委員会(丹波篠山市)
丹波篠山・まちなみアートフェスティバル



令和元年度
丹波ハピネスマーケット実行委員会
(丹波市)
丹波ハピネスマーケット



過去の受賞企業・団体の製品と事業

～ 3部門各1件、それぞれの特徴と今～

製商品を対象にした「きらめき部門」、食料品を対象にした「わくわく部門」、観光や交流の事業を対象にした「ときめき部門」の3つの部門がある「丹波すぐれもの大賞」。令和元年度の第9回までに計48件の受賞がありました。その中から、各部門1件ずつを取り上げ、それぞれの特徴と“今”を紹介します。

きらめき部門	柏原加工紙 株式会社	teshio paper
わくわく部門	丹波小林屋	バジル茶
ときめき部門	丹波篠山・まちなみ アートフェスティバル 実行委員会	丹波篠山・まちなみ アートフェスティバル

平成25年度受賞

teshio paper

● 柏原加工紙 株式会社 ●

▼ 60年以上「紙加工」一筋に歩んでいる柏原加工紙



DATA

本社所在地 兵庫県丹波市柏原町柏原 1561

事業内容 物流用加工紙・紙管・ラッピングペーパー・雑貨などの製造販売



柏原加工紙の持っている技術をフルに活用し、デザイン性の高い高付加価値ラッピング紙として開発した「teshio paper」は、「手塩にかける」から名づけられました。「紙を超えた紙」をコンセプトにしたブランドです。「丹波すぐれもの大賞」を受けたのをはずみに、花用のラッピングペーパーとして販路を開拓しました。平成31年2月には東京国際ナショナルギフトショーと

いう国内最大の雑貨の展示会に出展。ショーに出した商品の一つ「クルクル花ぐるまキット」は令和2年1月、県主催の「ひょうごNo.1ものづくり大賞」で特別賞に選ばれました。丹波市内在住のデザイナーとコラボしたラッピングペーパーや雑貨の開発にも力を入れています。また昨年、地域経済の中心的な担い手になりうる事業者として経産省から「地域未来牽引企業」に選定されました。

平成28年度受賞

バジル茶

● 丹波小林屋 ●

▼ 自家栽培しているスイートバジル



DATA

事業所所在地 兵庫県丹波市氷上町下新庄 1338-1

事業内容 スイートバジル、ホーリーバジル、なた豆、黒大豆を原料とする食品、健康茶の製造加工・販売



◀ 栄養成分を豊富に含んだバジル茶

イタリア料理で有名なスイートバジルと、丹波産コシヒカリの玄米を独自の製法でブレンドした日本茶風のバジル茶。手軽に飲めるティーバッグタイプです。スイートバジルには、免疫力向上や酸化作用があるベータカロテンをはじめ、骨の健康を保つビタミンK、老化を防ぐビタミンEなどの成分が含まれ、お茶にすることで摂取しやすくなっています。スイートバジルは、自社で無農薬

栽培されています。インターネット販売のほか、道の駅や温泉施設、農産物直売所などでも販売しています。平成30年には、明治神宮で催された全国特産物奉納行事で兵庫県の特産品として奉納されました。令和元年には、インドの伝統的医学「アーユルヴェーダ」で最高位にある万能ハーブ、ホーリーバジルを使ったサプリを商品化しました。

平成30年度受賞

丹波篠山・まちなみ アートフェスティバル

● 丹波篠山・まちなみ
アートフェスティバル ●
実行委員会

▶ 丹波古陶館前で展示された「三毛之坊さん（三田市）の造形作品



DATA

事務局 兵庫県丹波篠山市河原町 185 丹波古陶館内

事業内容 河原町商家群を生かしたアートイベントの開催



◀ 町屋で展示された足立慎治さん（丹波市）の絵画作品

城下町の歴史をとどめ、国重要伝統的建造物群保存地区に指定されている河原町妻入商家群で平成21年から本格的に始まったアートイベント。隔年で9月に計約10日間開催。「町屋が美術館に変わる」をテーマに掲げ、同商家群を中心に町屋を会場に陶芸や絵画、造形作品など多彩なアートを展示、各種の催しが繰り広げられます。兵庫丹波や京都丹波などから約60人の作家が参加するほどに成長

し、平成31年3月には、文化庁が発行した「文化財を活用したユニークペニューハンドブック」に掲載されました。新型コロナウイルスに見舞われた昨年は、丹波篠山市内の10人の作家が各自のアトリエを公開する分散方式で開催しました。今年春には河原町の無電柱化が完成し景観がアップすることから、今後の祭典は、町屋の景観により調和した展示方法がとられるようです。



兵庫県丹波県民局
県民交流室 地域振興課

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原688
TEL: 0795-73-3788